

大阪府・大阪市・堺市・大阪産業局 各トップのコメント

<吉村 洋文 大阪府知事>

大阪や京阪神のスタートアップを育てる力や熱意が高く評価され、「グローバル拠点都市」に選定されたことを、心から嬉しく思います。

大阪には「やってみなはれ」の精神で新しいことに取組む、進取の気性に富んだ土壌があり、これまでも世界に通じる製品・技術を数多く生み出してきました。新型コロナへの対応など喫緊の社会的課題に対して、スタートアップが従来の発想に捉われない解決策を示し、新たなビジネスを創出することが期待できます。

このたびの拠点の選定、さらには、人類共通の課題解決に向けた未来社会の実験場となる「大阪・関西万博」を契機として、国内外からスタートアップを呼び込み、イノベーションを促進することで、大阪・関西の経済成長・スマートシティの実現に貢献してまいります。

<松井 一郎 大阪市長>

大阪・関西には優れた大企業、素晴らしい技術やユニークな発想を持つ中小企業、優秀な大学や人材が多く、力もあります。また、大阪・京都・神戸の連携で、関西が一丸となって日本全体をけん引していく考え方が評価されたと考えており、非常に嬉しく思います。

大阪では、これまでもスタートアップ支援を進めてきました。拠点都市への選定で、国と連携することで、世界からより多くの人材や技術、アイデアが集まり、世界に通じる新しいビジネスが生まれ、大阪・関西経済の活性化につながると考えています。

今後、大阪では、うめきた2期開発や万博など、ビッグイベントも数多くあります。スタートアップの活躍で世界に通じるイノベーションが生まれ、大阪・関西が一層発展していくことを期待しています。

<永藤 英機 堺市長>

オール大阪、そして京阪神のスタートアップ支援の取組が評価され、グローバル拠点都市に選定されたことを心から嬉しく思います。

堺は中世、国際貿易都市として発展を遂げ、「もののはじまりなんでも堺」と称され、多くの新しい産業を生み出してきました。現在では、伝統産業から優れた先端技術を有する企業まで、幅広い分野の企業が数多く立地し、全国でも屈指の産業集積を有しています。

本市のスタートアップ支援の核となる中百舌鳥エリアでは、2022年の新大学設置によって工学系や情報分野が強化される大阪府立大学との連携を強化し、産官学の強力な連携によってイノベーションが起こる土壌を築きたいと考えています。

大阪のハブとなるうめきたエリアと中百舌鳥エリアが補完・連動し、新産業の創出を支援することにより、大阪・京阪神の経済活性化に寄与します。

<立野 純三 大阪産業局理事長>

スタートアップ支援のグローバル拠点都市として、大阪を含む京阪神エリアを選定していただき、誠にありがとうございます。2025年の万博に向けて弾みとなるスプリングボードをご提供いただいたものと本当に嬉しく思っております。今後は、大阪のみならず京阪神の各コンソーシアムの構成員と力を合わせ、スタートアップ企業の皆様に大阪・関西で起業して良かったと喜んでもらえるよう努力して参ります。